

感染症内科 キャリア形成プログラム（厚生連高岡病院）

卒後 年数	県内就労義務		内科専門医取得			感染症専門医取得										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12～				
研修	初期研修		①基本領域研修（内科）			②感染症専門研修		③感染症内科専門医として勤務								
			例：厚生連高岡病院内科専修医コース <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td colspan="2">厚生連高岡病院</td></tr> <tr><td>厚生連高岡病院</td><td>関連施設*</td></tr> <tr><td>関連施設*</td><td>厚生連高岡病院</td></tr> </table> ※関連病院(選択) 富山大学附属病院、金沢大学附属病院 佐久医療センター、南砺市民病院 JCHO高岡ふしき病院 金沢医科大学氷見市民病院 厚生連滑川病院など			厚生連高岡病院		厚生連高岡病院	関連施設*	関連施設*	厚生連高岡病院	② 厚生連高岡病院 感染症内科専門医プログラム 富山県西部の500床規模の3次救急病院、特定病院群の病院です。 米国感染症内科専門医の指導のもと豊富な症例を経験することが可能です。 他科からのコンサルテーションだけでなく、主治医としての業務もあります。 1人で判断することなく、指導医クラスに必ず相談できる環境です。 感染管理、抗菌薬適正使用に関連した業務も研修に含まれ、 インфекション・コントロールドクターの資格も併せて取得可能です。 必要に応じまして、連携施設での研修を適宜行います。 （富山大学附属病院、富山県立中央病院など）				
厚生連高岡病院																
厚生連高岡病院	関連施設*															
関連施設*	厚生連高岡病院															

①3～5年目は内科専門研修プログラムに入り、内科専門医を取得します。

厚生連高岡病院内科専修医プログラムでは、将来専攻するサブスペシャリティに関わらず内科医としての土台をしっかりと築くことを目標としています。常に患者の全体像を意識しながら、各専門医とも同じ目線で議論ができ、総合的な治療ゴールを設定し医療を行うことができる内科医の育成を目指します。

②6～7年目は厚生連高岡病院 感染症内科にて感染症専門研修を行い、感染症専門医を取得します。

③8～11年目は、富山県内の医療機関に勤務します。（県外施設での期間は返還免除時期が延期されます）